

大地震後、私たちはこう生きてきた

— 能登の障害者支援事業所の現場から —

ゆめ風ネット加賀では、新しい取り組みとして「のとからの風」展を開催しています。今度の地震で被災した障害者支援事業所のみなさんの半年あまりの取り組みの様子などを多くの方々にお伝えできたら、と想っていたことです。また、この機会に、大地震後の取り組みなどをまとめた冊子を作りたいと思いました。

そして、各事業所のみなさんより貴重な文章を寄せていただき、ここに『大地震後、私たちはこう生きてきた』ができました。

1人でも多くの人にこの冊子を手にしていただき、能登の人たちを襲った災害の大きさと、そこから立ち上がる人たちの歩みやその人たちの思いを、しかと心に刻んでいただけたら、と思います。～「はじめに」より抜粋～



「のとからの風」展の様子

● 1冊(全96ページ) 500円

大地震後、私たちはこう生きてきた
— 能登の障害者支援事業所の現場から —

小川 実・画「能登半島」(夢かぼちゃ)

① 障害福祉サービス多機能型事業所 さざなみ

運営主体	社会福祉法人鳥越福祉会
事業の種類	生活介護・就労継続支援B型・日中一時支援・放課後等デイサービス・短期入所・相談支援
主な生産活動内容	食品加工製造(コーヒー・ドライフルーツティー・糖漬・果コンニャク・梅干し等)
所在地	〒927-1214 珠洲市上戸北方歩字141番地1
連絡先	Tel: 0768-82-2660 Fax: 0768-82-2661 Email: sazanami@torigofukusikai.com

震災直後の状況
通所施設のため元日は営業していなかったため、ある職員の様子と福祉避難所の避難者さんの記事を紹介させていただきます。
A職員 (40代男性)
自宅で祖父母、子と囲んでいたところ被災。高台へ避難。深夜に大津波警報解除されるが、暗くて道路状態が分からないため車内で一晩過ごし、翌朝地域の小学校へ避難。家族のケア(子は17歳、8歳、5歳)に加え、地域防災士として夜間せん妄の高齢者介護や民間の支援物資搬入、炊出し等、避難所の運営に携わる。
行政は機能せず、現場の混乱から地域の避難所運営で手一杯。事業所に出動できたのは4日後でした。ちなみに、妻は高齢者入所施設で被災時は勤務中だったため3日間帰れず。1月は4日しか帰宅できませんで

珠洲市内の道路に散見される亀裂
① さざなみ(珠洲市)

ものが散乱した作業室
② すず橋(珠洲市)

地震の翌朝
③ あざし(輪島市)

壊れた器具が倒れてばらばらになっている作業室
④ あすなろふたばいんの会(輪島市)

●ご注文方法

お電話、メール、こちらの用紙でFAXでのお申込み、いずれかの方法でお申込みください。

●入金方法

【郵便振替用紙】冊子お届け時に同封しています郵便振替用紙にてご入金ください。

【郵便振込】口座番号 00980-7-40043 加入者名 ゆめ風基金

【銀行振込】支店:099 口座番号:0040043(当座) ユメカゼキキン

※振り込み日と銀行名、お振込み者のお名前をメールかFAXでお知らせください。

送料:1冊50円、2冊80円、3冊110円、4冊以上の場合は応相談。

フリガナ お名前			
ご住所	〒	—	
お電話		500円(税込)	冊購入